

みたけ夢だより



10月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

昇降口の日

副校長 小笠原 希

職員室のすぐ隣にある昇降口からは、様々な声や音が聞こえてきます。朝、登校してきた児童が上履きをすのこに置く音や友達との話し声。雨の日には雨粒を落とそうとして傘をバサバサと振る音。朝の会が近付くと、たくさん聞こえていた物音が段々となくなり、静寂が訪れます。それでも少し遅れて到着した子が、重たい扉をガラガラと開ける音や金魚の前で立ちすくんでいる子を促す大人の声が聞こえることもあります。



中休みになると昇降口ではいろんな物語が展開されます。前日から降り続けている雨の日には、職員室横の表示を確認しにくる低学年の姿が見られます。「内」表示が掲示されていると、1年生はすぐに踵を返して校内探検に出かけていきます。霧雨の時は表示が「内」でも「雨は降ってないけど、やっぱり内遊びかな。」と、遊べるのかを職員室へ聞きに来る中・高学年の姿があります。直接、聞きに来る子もいれば、昇降口の扉の前でウズウズしている子。今にも走り出しそうな子。ボールを持って友達とじっと待っている子。それぞれの姿で「今日は外に行けるかも。」と微かな希望を胸に待機しています。そして、校庭が使えないとわかった瞬間に、まるで蜘蛛の子を散らすかのように去っていきます。みたけ台小学校は割と水はけのよい校庭です。それでも、足跡が残ってしまうような場合は体育の授業に影響するため、使えないのです。



職員室横の掲示

さて、いよいよ待ちに待った晴天。表示を「外」にし、校庭で遊べることを校内放送でも告げると、昇降口では運動会の本番かと思うくらいの力強い歓声が、どこからともなく上がりました。長雨の影響で、思うように校庭で遊べなかった分、子どもたちにとってはすごく嬉しい時間となりました。職員室でも「今日こそは遊ばせてあげたい。」という思いがあったので、子どもの喜ぶ声を聞くことができ、ほっこりした瞬間でした。

そして、下校の時間。帰りの会を終え、教室から2列で並び担任と一緒に下りて来た後、「さようなら。また明日ね。」「さようなら。」と、すのこを歩く音や子どもの話し声と先生の挨拶がワイワイと響きます。下校時の昇降口は朝の時間よりもあっという間に子どもの声と姿が見えなくなり、再び静寂が訪れ一日を終えます。



学校はいろんなことが起こります。クラスにいるときだけではなく、学校の門を通る瞬間や昇降口での様子も見逃さないようにしています。また、気になる様子が見られた場合は、教職員で共有したり、子どもに声を掛けたりして、「みんなでみんなを」見守るようにしています。

今月は運動会があります。普段とはまた違った子どもの様子が、昇降口で繰り広げられるのではないかと思います。引き続き、皆様のあたたかいご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

